

最初の等積変形

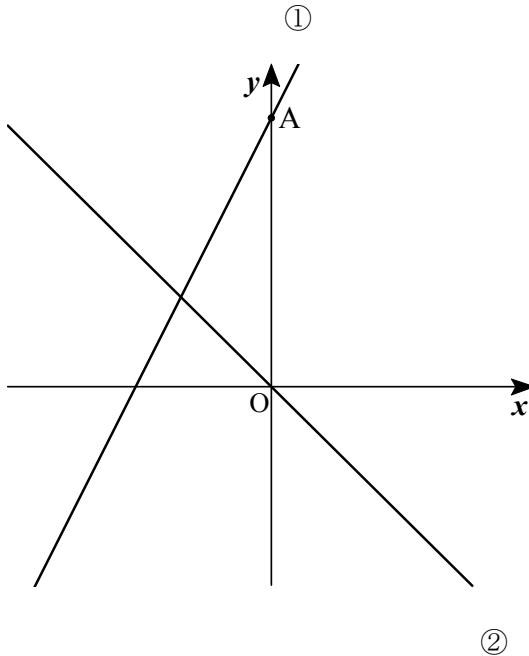
範囲：中2関数

難易度：★★☆☆☆

得点

/10

出典：オリジナル



関数 $y=2x+4$...①のグラフと、 $y=ax$...②のグラフがあります。ただし、 $a<0$ です。①と y 軸との交点をAとします。点Oは原点とします。次の問いに答えなさい。

- 問1 関数①で、 x が -2 から 4 まで増加するとき、 y の増加量を求めなさい。
- 問2 ①と、 x 軸との交点をBとします。 $\triangle OAB$ が②によって二等分されるとき、 a の値を求めなさい。
- 問3 $a=-1$ とします。①と②との交点をCとします。 x 軸上に x 座標が正となる点Dを取ります。 $\triangle OCA=\triangle OCD$ となるとき、点Dの座標を求めなさい。途中計算も書くこと。

【解答例】

問 1 (3 点)

$$\text{変化の割合} = 2 = \frac{y \text{の増加量}}{x \text{の増加量}} = \frac{y \text{の増加量}}{6}$$

$$y \text{の増加量} = 2 \times 6 = \mathbf{12}$$

問 2 (3 点)

点 A (0, 4), 点 B (-2, 0)

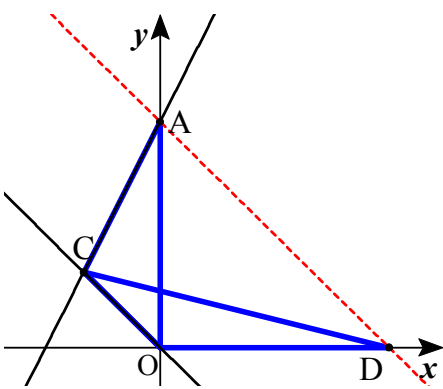
②が, $\triangle OAB$ を 2 等分するには, 辺 AB の中点を②が通れば良い。

$$\text{中点の座標は, } \left(\frac{0 + (-2)}{2}, \frac{4 + 0}{2} \right) = (-1, 2)$$

②に代入して,

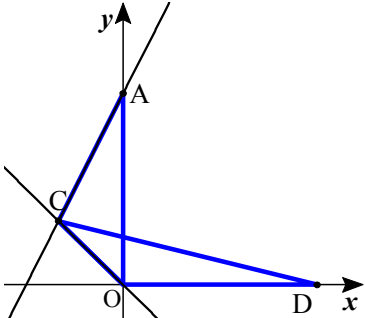
$$2 = -a \quad \mathbf{a = -2}$$

問3 (4点)



$\triangle OCA$ と $\triangle OCD$ は、底辺 OC が共通なので、 $OC \parallel DA$ となる。【2点】
したがって、点 D は、 $A(0, 4)$ を通り、傾き -1 の直線と x 軸との交点である。
この直線は、 $y = -x + 4$ なので、 x 軸との交点は、 $y = 0$ を代入し、
 $0 = -x + 4 \quad x = 4$

D (4, 0)



点 A の座標は $(0, 4)$
 $y = -x$ と $y = 2x + 4$ を連立した方程式を
解くと、 $x = -\frac{4}{3}, y = \frac{4}{3} \quad C\left(-\frac{4}{3}, \frac{4}{3}\right)$
 $\triangle OCA = \frac{1}{2} \times 4 \times \frac{4}{3} = \frac{8}{3}$
点 D の x 座標を t とすると、
 $\triangle OCD = \frac{1}{2} \times t \times \frac{4}{3} = \frac{2}{3}t = \frac{8}{3} \quad t = 4 \quad \mathbf{D(4, 0)}$

【コメント】

等積変形に関する出題です。2012年裁量、2016年共通で出ています。ということは、2020年は注意が必要。たぶん。(これよりは難しいと思われる。)

と思ったけど、この問題は等積変形を使わなくても解けます。好きな方で。

【作成】